

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文 学 部	身分	教授
氏名	辻 泉		
NAME	TSUJI Izumi		

1. 研究課題

（和文）ポピュラー文化研究における理論研究と実証調査研究の体系化

（英文）An approach to Japanese Popular Culture from theoretical and empirical points of view

2. 研究期間

2019・2020・2021 年度 ※2021 年度は新型コロナウイルス感染症特例対応により 1 年間延長

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度）

（和文）

本研究の目的は、今日のポピュラー文化について、報告者が「マルチメソッド・アプローチ」と呼んできた多角的な視点、および多様な調査対象にもとづいて、実態を明らかにしつつ、方法論的な洗練を目指すことにある。いわば、理論研究と実証調査研究とを相互に往復しながら、互いを磨き上げ、今日のポピュラー文化の実態を明らかにすることが目的である。

報告者は、このフィールドに関する最先端の事例に関する、各種のファン文化研究（マンガやアニメのファンやオタク、アイドルファン、鉄道ファンなど）、若者文化研究（大都市と地方、日本と海外の若者の比較など）、メディア文化研究（各種ニューメディアや各種雑誌などのオールメディアのユーザーなど）について、手広く行ってきたが、本研究においても、これを継続し、関連する文献を幅広く狩猟し、広範な視点から理論的研究を進めると同時に、多角的かつ実証的な方法を組み合わせ調査を実施した。

いくつかの研究成果に結実することとなったが、代表的なものとしては、辻泉ほか（2022）「若者文化は 30 年間でどう変わったかー「遠隔＝社会、対人性、個人性」三領域の視点からの「計量的モノグラフ」（その 2）」『中央大学文学部紀要 社会学・社会情報学』第 32 号：79-142 などが挙げられる。

（英文）

The aims of this study is approaching contemporary Japanese Popular Culture from theoretical and empirical points of view.

There are several results of this study, the most important of which is the following paper, TSUJI, I. et al (2022) "How Has the Japanese Youth Culture Changed over the Last 30 Years: "Quantitative Monograph", From View Points of Sociality, Communication and Personality(2)", *Journal of the Faculty of Letters, Sociology/Socio Informatics No.32*.